

令和七年
祭行事のご案内

初
詣

大晦日より終夜参拝
三ヶ日 御神酒 授与

正月縁起物多数

神守札授与所

一日 午前0時～2時

三ヶ日 午前8時～午後6時

※元日午前零時より、
峰翔会(こんぴらさん応援団)が
「甘酒」の無料接待を
ご奉仕いたします。

四月 九・十日(水・木) 春季大祭
七月 九・十日(水・木) 夏季大祭
七月 二十九日(火) 水無月祭
十月 十二日(日) 例祭神輿渡御祭
一月 十四日(日) 午前七時～
焼納祭(どんど焼)
お正月飾りなどは当日までに
お持ち下さい



実際の狛猫の作者は、鱈留村の石工、長谷川松助です。丹後に多くの石像物を製作した名工として名を遺し、狛猫の親子像にも見られるような慈愛溢れる作風は、猫瞞しの登場人物とは正反対ですが、当地に数多の石造物を遺した松助の功績にまで思いを巡らすことの出来る演目となりました。

こまねこまつりでお披露目された創作狂言『猫瞞し』はサラリーマン狂言師を名乗る河田全休氏によるこまねこまつりオリジナルの創作狂言です。

当地峰山には石工の名工が多いと聞き、石像猫の製作を頼もうと訪ねると、出会った石工は、明日にでも完成すると豪語する。証しながらも仕上がりを見に行くとなんとも滑稽な姿の猫像が。驚いて石工に会いに行くと作り直すと約束し、再度見に行くと更に滑稽な姿に。実は自称石工自身が石像に化けて瞞そうとしたもので、作品の滑稽な姿に驚き、石工に文句を言いに行く、また作品を見に行くとまた滑稽な姿が。という場面が繰り返され、軽妙なやりとりに観客は思わず引き込まれていきます。

こまねこまつりでお披露目された創作狂言『猫瞞し』はサラリーマン狂言師を名乗る河田全休氏によるこまねこまつりオリジナルの創作狂言です。

当地峰山には石工の名工が多いと聞き、石像猫の製作を頼もうと訪ねると、出会った石工は、明日にでも完成すると豪語する。証しながらも仕上がりを見に行くとなんとも滑稽な姿の猫像が。驚いて石工に会いに行くと作り直すと約束し、再度見に行くと更に滑稽な姿に。実は自称石工自身が石像に化けて瞞そうとしたもので、作品の滑稽な姿に驚き、石工に文句を言いに行く、また作品を見に行くとまた滑稽な姿が。という場面が繰り返され、軽妙なやりとりに観客は思わず引き込まれていきます。



令和7年の厄年(数え年)	
平成19年生	19歳 女子厄年
平成13年生	25歳 男女
平成5年生	33歳 女子大厄
平成元年生	37歳 男女
昭和59年生	42歳 大厄初老
昭和40年生	61歳 還暦
昭和31年生	70歳 古稀



初穂料 500円

新年祈願 承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除

合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

石工 長谷川松助

初代長谷川松助（一七七九—一八五三）は鱒留村で生まれ、京都大鳥居、文政八年（一八二四）当社には文政六年（一八二三）当地が良質の石材産地であることを背景に故郷鱒留で開業します。

栗島神社前の狛犬一対、天保三年（一八三二）阿形の狛猫を遺しています。境内参道には九対もの石子安地蔵がありますが、松助の作品の完成度は群を抜いています。

吉原の常立寺、弥栄町黒部の福昌寺、宮津市日ヶ谷の天長寺には赤子を抱いて慈愛に満ちたお姿の子安地蔵があり、狛猫親子像の作風にも通じます。



阿形 狛猫



平地地蔵尊



栗島神社 狛犬

府下最大の地蔵菩薩立像、大宮町上常吉の平地地蔵尊は天保四年

（一八三三）の建立で阿形狛猫の翌年です。当時は秘せられていた地蔵尊建立の真意は、その十年前に宮津藩領内で起きた文政一揆で

では丹後ちりめんの守護神に仕え繁栄を祈り希望に満ちた狛猫像製作との明暗に松助の想いは如何ばかりだったことでしょう。

作業の重なる頃かも知れず、一方では丹後ちりめんの守護神に仕え

亡くなった義民の供養です。製作

に宮津藩領内で起きた文政一揆で

では丹後ちりめんの守護神に仕え

亡くなった義民の供養です。製作

に宮津藩領内で起きた文政一揆で

では丹後ちりめんの守護神に仕え

亡くなった義民の供養です。製作

こまねこまつり 2024 開催

の親子狂言体験会で楽しく狂言教室が開催され、夕刻からは夜灯り

今年も九月二十二日（日）を中心様々な企画が催されました。心に様々な企画が催されました。昨年に続き「丹後ちりめんこまねこ守り」は当社紅葉で染めた糸で織られた生地で縫製、神符を蚕の繭に包んで納め、実行委員が一体

一体手づくりして製作、当日限定で授与されました。

九月二十一日（土）午後、本殿での「こまねこまつり祈願祭」斎行を皮切りに、狂言師・河田全休さん

手づくりで奉製

丹後ちりめん こまねこ守



手づくりで奉製



丹後ちりめん こまねこ守



夜灯りこまねこ狂言会



親子狂言体験会



手づくり灯籠の夜灯り



当時は生憎の雨模様



猫の目展



大丹後ネコ派てん



丹後縮緬つるし飾り



こまねこウォーク 吉村商店

の親子狂言体験会で楽しく狂言教室が開催され、夕刻からは夜灯り

こまねこ狂言会で、オリジナル創作狂言「猫瞞し」などが披露されました。

九月二十二日（日）当日は生憎の雨模様となりましたが、境内にはこんびら手づくり市を中心池田修造氏の「猫の目」展、ねこ会議のうちのシロ知りませんか、峰

高茶道部のお呈茶席、北近畿鉄道ビジネスのこまねこ鉄道フェスタ、京丹後警察署のパトカー・白バイ展示などで賑わいました。

九月二十一日から二十三日まで

は白銀の田中家具ギャラリーで第4回大丹後ネコ派でんが開催され、二十数名の手によるネコに因んだアート作品の展覧会が好評のうちに開催されました。

十月十九日（土）は羽衣ステーション「てくてくわがまち再発見」との共催で「ものづくりのまち峰

山」をテーマに「こまねこウォーク」を開催、総勢五十名が参加し、日進製作所創業記念館、吉村商店、染色工房鳴津を訪問するなどし、午後から会館では「イキペディア」にやウンVOLWが開催され、新たな項目が編集されました。

今回は福知山公立大学小山元孝教授のゼミ生が多数参加して、狂言会のスタッフやワークの案内ガイドなどもつとめ、ケーブルテレビ京丹後局の「こまねこまつり」ディメンタリーフィルムの製作も行なうなど大活躍でした。

こまねこまつりに
「こまねこ」がやってくる！

コマ撮りアニメのキャラクター、

ドワーフの「こまねこ」がこまねこまつりにやってきました。動画紹介やグッズ販売があり、十二月

の手づくり市でもドワーフこまね

こまつりにやってきました。動画紹介やグッズ販売があり、十二月

祭礼献燈 高張提灯 九張
峰山商業開発株式会社 様
(ショッピングセンター・マイン)

令和六年七月

奉納御礼